

お知らせ

参加者募集「イタセンパラの勉強会」

1. 概要

生物の保全に関心のある方を対象に「イタセンパラの勉強会」を開催します。

絶滅危惧種で国の天然記念物であるタナゴの仲間の淡水魚「イタセンパラ」について、木曽川でのイタセンパラの生息環境や環境改善事業、保護増殖事業、地元での保全活動の取組等について学び、イタセンパラの保全と私たちの生活との関わりについて考えたいと思います。

現在、参加者を募集しておりますのでお知らせします。 <参加費無料>

2. 開催日時・場所・内容等

令和4年12月3日（土） 13:00～16:00

一宮市尾西歴史民俗資料館（愛知県一宮市起字下町 211）、
木曽川現地（現地見学は小雨決行となります）

「Zoom」を使用したウェビナー形式とのハイブリットでの開催になります。

WEB参加者には、開催前に招待メールをお送りいたします。

内容、参加申込方法の詳細は、別紙概要書及び添付の参加者募集チラシを御参照ください。

参加者募集チラシ・申込書は、中部地方整備局HP 記者発表資料（令和4年11月発表分）

（<https://www.cbr.mlit.go.jp/kisya/kisyalist/2022/11>）及び中部地方環境事務所の

HP 報道発表資料（<https://chubu.env.go.jp/press.html>）からご覧いただけます。

3. 添付資料

- ・概要書：「イタセンパラの勉強会」について
- ・「第13回 イタセンパラの勉強会」参加者募集チラシ、申込書

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、一宮日刊記者会、羽島記者クラブ

5. その他

- ・希少種の詳細な生息地域等の情報、個人情報保護法に抵触するもの等については、非公開とさせていただきます。
- ・発表内容について、映像の保存や音声の録音といった行為は禁止とさせていただきます。

6. 問合せ先

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課	課長	廣澤	一	
	専門官	水野	拓郎	tel:052-955-2139
国土交通省 中部地方整備局 河川環境課	課長	折戸	充	
	課長補佐	日比野	修	tel:052-953-8151

概要書 「イタセンパラの勉強会」について

「イタセンパラ」は、日本固有のコイ科の淡水魚で、二枚貝に卵を産むタナゴの仲間です。本種は国の天然記念物、また国内希少野生動植物種に指定されている希少種です。

イタセンパラは現在、淀川、木曽川、富山平野の3地域のごく限られた場所にしか生息しておらず、生息環境の変化や、密漁などの人為的な影響もあって個体数が減少傾向にあり、絶滅が危惧されています。

「木曽川水系イタセンパラ保護協議会」（地域の学識経験者や行政機関等で構成、概要下記）では、イタセンパラの生態などを地域の方々などに御理解いただき、連携した取組を進めていくことを目的として、毎年「イタセンパラの勉強会」を開催しております。

第13回となる今年の勉強会では、座学によるイタセンパラセミナーと木曽川での現地見学会をZoom ウェビナーとのハイブリット開催にて企画いたしました。

環境省から希少種保全の取組、国土交通省から木曽川での生息地の環境整備について説明します。また、岐阜県水産研究所の小松史弥主任研究員からイタセンパラの生息域外保全の取組、岐阜大学の永山滋也特任助教から木曽川の氾濫原環境やイタセンパラの生息環境とその変化についてお話しします。さらに一宮市尾西歴史民俗資料館の久保禎子学芸員より地元の学校による取り組みについて紹介し、現地にて木曽川のワンド環境等について見学して頂く予定です。

木曽川の宝である「イタセンパラ」について勉強できる貴重な機会ですので、ぜひ御参加ください。

なお、参加にあたっては事前の申込みが必要です。

参加者募集チラシ裏面の参加申込書（本資料の最終ページ掲載）により、応募してください。

＜ 木曽川水系イタセンパラ保護協議会（H22.3.9 設立、H30.3.5 改正）の概要 ＞

木曽川水系のイタセンパラ保護のため、学識経験者、関係機関及び地域住民が協働して、下記の活動を行っております。

【活動内容】

- 1) イタセンパラの密漁対策
- 2) 希少種に関する啓発活動
- 3) 希少種に関する環境教育活動
- 4) イタセンパラの生息環境改善のための対策とそれに関する調査・計画の立案
- 5) イタセンパラの生息域外保全に関すること
- 6) イタセンパラの野生復帰に関すること
- 7) その他関連する事項

【構成機関】

学識経験者：池谷 幸樹（世界淡水魚園水族館）、伊藤 健吾（岐阜大学）、上原 一彦（大阪府立環境農林水産総合研究所）、北村 淳一（三重県総合博物館）、久保 禎子（一宮市 尾西歴史民俗資料館）、永山 滋也（岐阜大学 地域環境変動適応研究センター）、森 誠一（岐阜協立大学 地域創生研究所）、森 照貴（土木研究所 自然共生研究センター）、山崎 裕治（富山大学）

関係機関：文化庁文化財第二課、愛知県（自然環境課、文化芸術課 文化財室）、愛知県警察本部 生活経済課、岐阜県（環境企画課、文化伝承課、水産研究所）、岐阜県警察本部生活環境課、一宮市博物館、羽島市生涯学習課、碧南市碧南海浜水族館、名古屋市東山動物園、世界淡水魚園水族館

事務局：環境省中部地方環境事務所野生生物課、国土交通省中部地方整備局河川部、国土交通省中部地方整備局木曽川上流河川事務所

参加者
募集

国内希少
野生動植物種
(種の保存法)

天然記念物
(文化財保護法)

絶滅危惧ⅠA類
(環境省レッドリスト)



木曽川のイタセンバラ

第13回

イタセンバラの勉強会

イタセンバラセミナー＋現地見学会

開催日：令和4年 12月3日(土) 13:00～16:00
会場：一宮市尾西歴史民俗資料館

Zoomウェビナーとのハイブリット開催となります

内容：○イタセンバラセミナー「木曽川のイタセンバラについて」

- ・「環境省における希少種保護の活動について」

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課

- ・「木曽川におけるイタセンバラの生息域外保全の取り組み」

岐阜県水産研究所 試験研究部 小松 史弥 氏

- ・「木曽川の氾濫原環境の変化とイタセンバラの生息環境」

岐阜大学 永山 滋也 氏

- ・「地域での取り組み」 一宮市尾西歴史民俗資料館 久保 禎子 氏

○木曽川現地見学会(小雨決行※)

- ・「木曽川ワンドにおける環境整備の取り組み紹介とワンドの生き物の紹介」

国土交通省 木曽川上流河川事務所 調査課、(株)建設環境研究所

※雨天により現地見学会が実施できない場合は、室内にて動画による木曽川ワンドの紹介を行います。

定員：現地での参加30名(申込み多数の場合は抽選となります)＋WEB参加100名

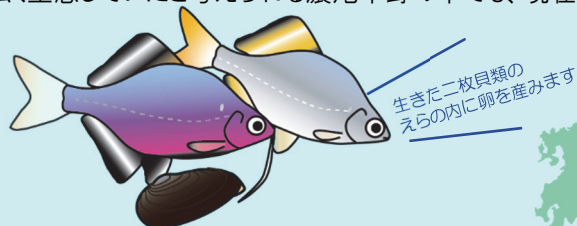
参加費：無料

対象：小学生高学年以上

※参加申込方法については、裏面をご覧ください。

木曽川にすむ希少魚「イタセンバラ」ってどんな魚？

イタセンバラ(コイ科タナゴ亜科)は、生きた二枚貝類のえらの内に産卵する日本固有のタナゴ類の1種です。分布は濃尾平野を含む国内3地域に限られ、いずれの地域においても絶滅が危惧されており、国の天然記念物、国内希少野生動植物種に指定されています。かつては広く生息していたと考えられる濃尾平野の中でも、現在の確認箇所は、木曽川中流部のごく一部のワンドに限定されています。



生きた二枚貝類の
えらの内に卵を産みます



生息地は
世界で
3か所だけ



イタセンバラの稚魚

なお、発表内容について、映像の保存や音声の録音といった行為は禁止とさせていただきます。

主催：木曽川水系イタセンバラ保護協議会
【お問い合わせ先】

環境省 中部地方環境事務所 野生生物課(tel:052-955-2139)

国土交通省 中部地方整備局 河川環境課(tel:052-953-8151)

FAX 送付先 052-218-0667

■ 申込方法及び申込先

- ①メールの場合は、
申込内容を記載し、件名を『イタセンパラの勉強会参加申込』として、
itasenpara@kensetsukankyo.co.jp まで送信してください。
- ②FAX の場合は、
この申込書に記入して、052-218-0667 まで FAX してください。
- ③はがきの場合は、 返信用の宛先を記載した往復はがきに申込内容を記載し、
下記まで郵送してください。

〒460-0003 名古屋市中区錦 3-20-27

御幸ビル 5F (株)建設環境研究所
第 13 回イタセンパラの勉強会事務局 宛 **※切 11 月 27 日(日)必着**

※応募や参加方法に関するお問合せ先：
(株)建設環境研究所 TEL052-218-0666 担当：加藤、板橋
または上記①のメールアドレスまで

■ 参加申込内容

連絡先（代表者）			
① 氏名			
② 住所	〒		
③ 電話番号	:		
④ FAX 番号	:		
⑤ Email アドレス	:		
⑥ 参加人数	:	大人 名	、 小人（中学生以下） 名
⑦ 参加方式	:	現地参加	WEB 参加 どちらかに○をつけてください
⑧ イタセンパラ保護に関する取組への御意見 :			

※参加申込に関わる個人情報は、勉強会以外には使用いたしません。

■ 定 員：現地参加 30 名、WEB 参加 100 名

（申込み多数の場合は抽選とさせていただきます）

■ 御応募いただいた方には、事務局より招待メールをお送りいたします。